

## 浮雲 (1955)

メディア 映画  
ジャンル ドラマ 文芸  
製作国 日本  
色彩 B&W  
時間 124分  
初公開日 1955/01/15  
映倫 G

## 【解説】

「めし」「稲妻」の成瀬巳喜男監督が、再び林芙美子の同名小説を原作に、とめどなく落ちぶれていく自堕落な男と、そうと分かっているながら結局どこまでも男に着いていってしまうひとりの女の宿命を描いた愛と悲劇の物語。

戦時中、赴任先のインドシナで、妻ある男・富岡と出会い愛し合ったゆき子。終戦後、妻と別れて君を待っている、との言葉を信じ富岡のもとを訪れたゆき子だったが、富岡はいつまでたっても態度をはっきりさせようとしない。途方に暮れたゆき子は外国人の愛人となり、富岡のもとを去る。しかし、ある日、富岡が訪ねてくると、ゆき子の心は再び富岡へと戻って行く。ところが、二人で行った伊香保温泉で、富岡は今度は飲み屋の若妻おせいに出してしまう……。

理屈では割り切れない男と女の業と性を冷徹なまでに妥協のない眼差しで描き切った名匠・成瀬巳喜男の代表作。全編を通して一瞬たりとも緩むことのない息詰まるほどの張りつめた緊張感をぜひとも味わっていただきたい。

## 【クレジット】

監督	成瀬巳喜男	
製作	藤本真澄	
原作	林芙美子	(『浮雲』)
脚本	水木洋子	
撮影	玉井正夫	
美術	中古智	
編集	大井英史	
音楽	斎藤一郎	
監督助手	岡本喜八	
特殊技術	東宝技術部	
出演	高峰秀子	幸田ゆき子
	森雅之	富岡
	中北千枝子	妻・邦子
	岡田茉莉子	おせい
	山形勲	伊庭杉夫
	加東大介	向井清吉
	木匠マユリ	飲み屋の娘
	千石規子	屋久島の小母さん
	村上冬樹	仏印の試験所長
	大川平八郎	医者

金子信雄	仏印の所員・加納
ロイ・H・ジェームス Roy H James	米兵
出雲八枝子	下宿のおばさん
瀬良明	太田金作
木村貞子	兼吉の母
谷晃	信者
森啓子	仏印の女中
日吉としやす	アパートの子供